

2022年度 日本医療検査科学会 第1回生理検査委員会  
議事録

日時:2022年4月16日(土) 14時00分～

場所:WEB開催

出席者:古川泰司、代田悠一郎、竹内正明、田邊晃子 大川龍之介(担当理事)

欠席者:東條尚子、小笠原(大村)直子 (敬称略)

#### 報告事項

1. 前回議事録について、確認された。特に訂正連絡はなかった。
2. 新任委員について、前回委員会にて、神経生理部門:眞崎桂(まさきかつら)氏が推薦されていたが、事務手続きが進んでいなかったため、早急に対応することとなった。
3. 2021年の活動報告として以下の事項について報告された。
  - 1) 2020年アンケートの総括報告・概要の掲載
    - ① 全体概要の結果は、「医療検査と自動化」1月号に掲載された。  
[https://jcls.or.jp/wp-content/uploads/2022/01/journal\\_vol47\\_01.pdf](https://jcls.or.jp/wp-content/uploads/2022/01/journal_vol47_01.pdf)  
心電図についての内容は既に投稿されており、掲載を待つ状況である。
    - ② 2021年追加アンケートについて、①心電図と呼吸機能について追加調査が行われた、②2020年アンケート回答70施設にメールで送付し、39施設より回答が寄せられた。
  - 2) 第53回大会での活動報告として、技術セミナーでは、上記追加アンケートの結果が、シンポジウムとして「生理機能検査における精度管理と人材育成」が、現地とオンデマンド配信で発表された。
  - 3) 上記内容について、大会抄録で確認された。

#### 審議事項

1. 委員会アンケートの今後について  
2020年生理機能検査委員会アンケートは、本邦の生理機能検査の精度管理状況について、ISO 15189認定施設を対象とした初の集計活動であり、意義ある調査と判断されるが、対象施設は2021年度末の認定施設であり、認定施設の総数は170、このうち生理機能検査を認定範囲としている施設が124の時点で実施された。当該認定施設数は、この後2年の間に増加を続け、今般4月6日の時点で確認したところ、総施設数264、うち生理機能検査認定施設数176となっていた。  
初回アンケート調査時点では、概ね3年に一度更新調査を行う予定であったが、生理機能検査の認定施設数がアンケート集計施設(69施設)の3倍近くになっている状況では、精度管理状況の実態を表しているとは考えにくく、初回調査と同様の調査を対象施設を広げて行うのが妥当であると判断された。  
具体的な調査方法については、メール稟議とするが、調査内容については基本的に初回調査と同じ内容とすることが、各認定分野(超音波は継続審議)で確認された。初回調査では、アンケート内容のハードコピーを郵送したが、非常に大部の印刷物となることから、今回は郵送は案内のみとし、WEB・メールを活用してアンケート本体を行う方針とする。
2. 委員会活動方針について
  - 1) 委員会アンケート結果の展開について
    - ① 心電図、脳波での、シミュレーター巡回配布については、本委員会が関与す

る、外部精度管理の代替えアプローチとなるが、予算立てが必要であり、今回の施設を広げたアンケート結果を待ち、予算化する方針とした。

② その他、特に提案はなし。

2) 分野の拡大について、特に血圧・脈波に関する調査は望まれるが、今期は見送る方針となった。

3) 活動内容について

新規委員募集が必要であり、2021セミナー参加者アンケートから募集し、13名から連絡先を得ていることが報告された。内諾打診を行うことで了承された。

3. 第54会大会での活動方針

学会事務局・大会長からの全体予定が情報共有され、委員会、技術セミナーの時間について確認された。技術セミナーについては、今回の施設拡大後の集計を発表する予定とした。

4. 新任委員推薦について以下の推薦があり、了承された。

朝日 佳代子 大阪大学医学部附属病院

大門 雅夫 東京大学医学部附属病院

5. その他、委員会内規(案)について事前にメールで確認としたが、現状委員数が少数であり、今期は案のままとすることで了承された。

以上